

プラットフォーム(1)

山本 正行 Yamamoto Masayuki 山本国際コンサルタンツ代表
明治学院大学・関東学院大学講師、決済サービス事業の企画、戦略立案を専門とするコンサルタント。消費生活相談員を対象とした研修も実施。講演、執筆多数

今回はキャッシュレス決済に関するプラットフォーム*¹について解説します。

提供手段が多様化する キャッシュレス決済

キャッシュレス決済は種類が増えただけでなく、キャッシュレス決済を提供する手段も大きく変化してきています。キャッシュレス決済を提供する手段として、スマホなどのプラットフォームや、決済代行会社やアクワイアラーを介さずにクレジットカードなどの国際カード決済ができるPayPalなどのプラットフォーム型決済サービスも加わりました。さらに、最近では大手のインターネット販売事業者であるAmazon、楽天などがキャッシュレス決済機能そのものを、個人を含む外部の販売者でも使えるように拡張しています。

このような状況は、何かトラブルが起きたときに、キャッシュレス決済がどう行われたのか、誰が当事者なのか、誰に問い合わせればよいの

か、などの整理を難しくする傾向を生み、消費生活相談員泣かせともいえます。

決済機能を持つプラットフォーム

決済機能を含むプラットフォームは多様化が進んでいます。代表的な例をいくつか挙げます(図1)。

● スマホプラットフォーム

Apple、Googleなど

● 大手インターネットショップ

Amazon、楽天、Yahoo! など

● ネット販売プラットフォーム

Stripe、BASE、STORES、Shopify など

● mPOS

AirPay、Square、楽天ペイなど

● その他

PayPal など

〈スマホプラットフォーム〉

Apple、Googleなどが提供するプラットフォームで、利用者がスマホで利用する有料サービスやアプリ、スマホに関連する物販などをまとめて提供しています。ゲームやコンテンツ提供事業者(販売者)はスマホプラットフォームを用いてゲームやコンテンツを提供し、スマホ利用者はスマホを通じて事前にアカウ

図1 プラットフォーム型決済サービスの類型



※図はすべて筆者作成

*1 システムやサービスの土台・基盤となる環境のこと

ントに登録したクレジットカード番号等で支払い、ゲームやコンテンツを利用できるようになっています。

Apple、Googleはそれぞれ対応する決済手段の幅を広げており、国際カード、ギフト（Appleギフト、Google Playギフト）、キャリア決済に加えて独自の後払い（BNPL）にも対応しています。

〈大手インターネットショップ〉

Amazonや楽天などの大手インターネットショップは、運営会社が商品を仕入れて販売することに加えて、運営会社以外の販売者が出店して販売することもできるようになっています。これを「マーケットプレイス出店」などと呼ぶことがあります。この場合、販売者には法人ばかりでなく個人も含まれます。

なお、Amazon、楽天などはネットショップに組み込む決済機能のみの利用も可能で、それぞれAmazon Pay、楽天Payとして販売者に提供しています。この場合はマーケットプレイス出店ではなく、次で説明するネット販売プラットフォームに該当します。

〈ネット販売プラットフォーム〉

販売者にネットショップと決済のしくみを提供するサービスです。これまでは、販売者がインターネット上で販売から決済までの機能を構築するのは、決済代行会社等との契約やシステム開発など、一定のハードルがありました。ネット販売プラットフォームを利用することで、そのようなハードルが解消され、誰でも簡単にネット販売ができるようになりました。海外発祥のサービスにStripe、Shopifyなど、国内発祥のサービスにBASE、STORESなどがあります。最近はこの方式のサービスが増える傾向にあります。

大手インターネットショップとの違いは、多くの場合に、販売者が独自のネットショップを開設し、ショッピングカートや国際カードなどの決済機能を利用できるようにしている点です。

しかし最近ではネットショップだけではなく、販売チャネル（経路）を広げ、SNSやメールなどで利用者に直接、商品広告の投稿等を行い、ネット販売プラットフォームの決済のしくみを利用することも増えています。そしてネット販売プラットフォームの多くがこのような利用を認めています。

なお、前述したように、Amazon Pay、楽天Payは、決済機能のみを利用してネットショップに組み込むことができます。

〈mPOS〉

mPOSはmobile POSの略で、店舗がスマホやタブレットなどで国際カード決済などを行うためのサービスをいいます。スマホやタブレットに国際カードや電子マネーの読取機を接続し、スマホやタブレットを店員が操作することで支払いを受け付ける方式が一般的で、利用者はカードを提示し、場合によって利用者自らカードを操作するなどして支払います。

代表的なものには、Square、AirPayなどがあり、大手インターネットショップとネット販売プラットフォームも兼ねる楽天Payがこの方式にも対応します。

〈その他：PayPalなど〉

PayPalは、販売者（売り手）と買い手の決済や代金支払を簡単に行うための収納代行に加え、PayPal利用者相互の送金に対応するサービスです。

● 収納代行サービス

メールでの請求や、ネットショップでの決済機能のためのAPI^{*2}などを提供しています。例えば、メール請求は次のような流れで行われます。

- ① 売り手がPayPalのメール請求機能を選択し、買い手のメールアドレス、名目、金額などを指定
- ② PayPalから買い手に請求メールが送られる
- ③ 買い手に届いたメール内のURLをクリック

*2 アプリケーション・プログラミング・インターフェースの略で、あるアプリケーションの機能や管理するデータ等を他のアプリケーションから呼び出して利用するための接続仕様・しくみを指す

